

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターけやき								
指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう					法人番号	1100005007764		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1419	地域活動支援センターけやき							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室3、事務室、休憩室								
施設設置目的	障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生活活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業者を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	・地域活動支援センター事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう			指定回数	3 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和3年3月31日	2年	管理運営開始日	平成21年12月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 25

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		登録者数	人/月	12	12	12	12	100%	3
		利用者数	人/月	8.2	8.2	7.9	8.2	104%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 定員14人 登録者12人 令和元年度日平均利用者:8人/日									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・販売実習(パンの代行販売)等による社会訓練 ・地域交流も兼ねた地域イベントへの出店			・新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベントが中止又は不参加				
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・地元の保健師や民生委員等との連携に努め、情報の共有化を図っている。 ・通所の際に送迎サービス(中条地域内)を実施している。							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	・作業の合間の休憩時間等に、職員と利用者全員でお茶を飲み、雑談を交える中で、自由に発言できる時間を設け、利用者の要望等の把握に努めている。 ・利用者相互で状態の変化等について気づいた点を、利用者から支援者へ情報提供することがある。	
		(3) 調査、会議等の結果	・「どこかへ出かけたい(旅行)」等の要望がよく上がる。 ・利用者の希望・要望はできるだけ、施設で開催する行事・催事に反映させる。	
利用者からの評価・要望・苦情等	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	・利用者の要望に沿い、地元だけでなく周辺地域へも出かけ、積極的に地域間の交流を図っている。 ・自宅での生活が困難となってきた利用者のために、施設(グループホーム)入所について、交渉や手続きを行っている。 ・利用者及び家族から、「この施設“けやき”が、本当の自分の居場所」「ここがなくなるようなら困る」等、施設に対する愛着の意思表示がある。 ・「けやき」に来るのが楽しみであり、生きがいになっている様子を示している利用者が多い。	3
		(2) 苦情・改善等の要望事項	なし。	
		《対応措置》		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	9,748,000	指定管理料	9,748,000		雑(納付金)		雑(納付金)			
	委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等	1,100,000	販売収入等	291,715		貸付料		貸付料			
	その他収入	86,000	その他収入	14,591		その他		その他			
	計	10,934,000	計	10,054,306		計	0	計	0		
	支出	人件費	7,972,000	人件費		7,946,146	歳出	指定管理料	9,748,000	指定管理料	9,588,000
		設備管理費	0	設備管理費		0		委託料	248,600	委託料	216,000
		備品購入費	50,000	備品購入費		0		需用費		需用費	
		修繕費	124,000	修繕費		137,280		役務費		役務費	
光熱水費		563,000	光熱水費	623,190	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		181,000	事業費	114,100	修繕費			修繕費			
事務経費		944,000	事務経費	681,533	工事請負費	462,000		工事請負費	1,155,000		
本社経費		0	本社経費	0	備品購入費			備品購入費			
その他		0	その他	0	その他			その他			
工賃支払		800,000	工賃支払	267,000	計	10,458,600		計	10,959,000		
計	10,634,000	計	9,769,249								
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	300,000	285,057	差引	-10,458,600	-10,959,000						
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									81.3%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 施設長(常勤) 1人(1)、支援員(常勤) 2人(2)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案 追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・同建物内授産施設との交流事業を実施している。 ・地元の保健師や民生委員等との連携に努め、情報の共有を図っている。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点		62	

評価理由

・利用者の状況を考慮し、近隣企業からの受注を図ったり、地域の特性(中山間地域)を生かした農作業など様々な活動や作業が提供されている。
 ・地域的な問題から、大幅な利用率の増加は見込めないと思われるが、施設利用者にとって日中の生活の場であり、就労の場であることを第一とし、毎日の送迎等、通所者に対するサービスを実施しながら、施設を運営している。
 ・地域の福祉機関等との連携や、情報共有を積極的に行っていることから、7 地域連携を「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
・施設利用者の高齢化が進行(R元年度時点 平均年齢:59.3歳)している実態がある。	・地域の関係者との情報共有を行う。	

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

・地域の福祉関係機関や、保健師、民生委員等との連携により、地域内の情報を共有することで、新たな利用者の受入れを図る等、利用者増に向けての取組みを引き続き行っていただきたい。
 ・安定した作業の確保と、新規作業の拡大を積極的に行っているの継続していただきたい。
 ・人権や障害者特性に配慮した障害者支援を行うことができるよう各種研修の機会を設けていただきたい。
 ・2階で活動している中条社会就労センターとの連携を引き続きお願いしたい。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

施設としてのサービス、利用者に対してのサービスは要項を厳守した上で、中条地区は中山間地のため障がい者にとっては施設利用が不便であるため利用者全員を送迎している。

利用者・地区内にとっては利便性のある施設運営が求められ地域福祉の増進に寄与している。

同施設内に(社会就労センター)障がい者5名が利用していることから、施設内外の利用者との交流(信州新町、小川、鬼無里地区)を積極的に行っており、地域に根ざした施設サービス運営に心がけている。

② 業務の効率化に対する取組み

5年間で振り返るモニタリングを職員と共に行い、施設利用者の意見から生産活動を行い、創作活動の充実のため関係機関との情報交換をし、地域に開かれた施設運営を行っている。

③ その他

中条地域の特色ある運営を目指します。(例)中条地域特産の料理で使う食材を、当施設の創作活動において生産する。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

業務上の課題として、生産活動(さりを織り製品)が主であったが、景気低迷により企業の倒産などから受注量が少なくなり、その分を施設の目的である創作活動を取り入れている。

また、関係機関との連携等により、福祉サービスに結びついていない人が利用者となるよう努める。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

同建物内に社会就労センターがあることにより他施設交流として合同行事を行うほか、地区内での福祉事業等に協力参加も定着している。中山間地なりに過疎と高齢化による事業参加人数が減り、施設利用者数と事業参加者数の確保が困難となってきた。

② 次年度以降の取組み

法人理事会・施設利用者の意見を取り入れ、創作活動の充実、更には生産活動の提供を行い、地域に開かれた施設運営を行う。